



練馬区立石神井東小学校

平成 28 年度

学 校 便 り

冬休み号

校長 赤尾 眞司

良いお年をお迎えください

校長 赤尾 眞司

2016年（平成28年）も、残すところあとわずかになりました。

子供たちにとって、今年はどうのような年だったのでしょうか。子供たちは運動会など大きな行事を通して個々の力を付けると共に、団結することのすばらしさ、全員で作ることの楽しさを学ぶことができました。石東ふれあいタイムでは、違う学年の友達との活動を楽しみました。また、授業でも、発言が増えた、ノートのとめ方が上手になった、計算力がついた、丁寧な文字で書けるようになった、宿題を忘れずにやれた、話し合い活動が楽しかった等、それぞれにがんばれたことがありました。これまでに身に付けた力をいかして、来年はそれ以上の力を身に付けられるように努力したいものです。しかし、友達との関係で残念な思いをした児童もいます。学校としては、より子供たちの心に寄り添った指導を徹底し、子供たちがつらい思い、残念な気持ちにならないよう、これからも全力で取り組んで参ります。

12月4日から1週間は人権週間でした。それに合わせて、5日の全校朝会で人権の話をしました。人権とは、人間が人間として生まれながらにもっている基本的な権利のことです。子供たちには、一人一人が楽しく学校生活を送れることが、みんなにとっての大切な権利の一つだという話をしました。話の中で、都内小学校6年生が書いた、人権メッセージの作文を紹介しました。

みんなが幸せになるために

みんなが幸せになるためにはまず、他人のことを考えて、みんなを大切にすることだと思います。友達が一人でいたり、元気がなかったりした時には、やさしく声をかけてあげようと思いました。そうすれば、みんながうれしくなって幸せになれると思います。

もし、友達が自分のことを誤解して怒っているときは、自分から仲直りする方法をさがすことが大切だと思います。逆に自分が怒っているときは、相手の良い所をさがす努力が必要だと思います。

でも、いつも笑っていることが、幸せになる一番の近道です。笑っていれば、自分も相手も幸せにできます。他人のことをうらやましながら、自分自身を大切にすることも大切です。

（人権メッセージ集から 一部抜粋）

子供たちには、自分を大切にできる人、友達を思いやることができる人になってほしいです。もしも困っている友達を見かけたら、進んで声をかけてあげられる人に成長してほしいものです。そのためには、作文にも書いてありましたが、相手の良いところを探していくこと、そしていつもみんなが笑顔で生活していくことが大切だということをお話しました。本校では、子供たちが元気に、笑顔が絶えない楽しい学校生活を送れるよう、日々取り組んでいます。子供たちの声に耳を傾け、一人一人の児童を教職員全員で見守ることができるように、日頃から教職員の連携を密にして指導に取り組んでいます。「友達を大切にできる子供、友達の気持ちを考え行動できる子供、友達のためにがんばれる子供」を育てることを目指して、指導を進めています。

ご家庭でもお子様の声に是非耳を傾けてください。学校での出来事などをじっくり聞いてあげる時間をもつと共に、人を大切にすることや暴力はいけないということについてもご確認ください。その上で、何かお子さんについて心配なことがありましたら、学校に相談してください。

今年一年、本校の教育活動に対して、深いご理解とご協力をいただきましたこと心から感謝申し上げます。新しい年が、希望に満ちた輝かしい年でありますように、そして子供たちが豊かな心を持ち、元気にのびのびと成長していくことを願っています。

【授業開始日】 平成29年1月10日（火）

※当日は5時間授業で給食があります。5校時終了後に委員会活動があります。

《お知らせ》

12月29日（木）から1月3日（火）までの6日間は、学校は終日機械警備となり、無人になります。そのために、校地内（校舎内・校庭）には一切入れませんので、ご注意ください。